



草戸千軒展示室「よみがえる草戸千軒」
 草戸千軒町遺跡の発掘調査に基づいて、「草戸千軒」の町並みを
 実物大で復原しました（今からおよそ650年前〔南北朝時代〕の初
 夏の夕暮れどきを再現）。
 展示室の周囲には、国重要文化財の出土遺物を生活の場面ごとに
 分類して展示しています。



白磁四耳壺

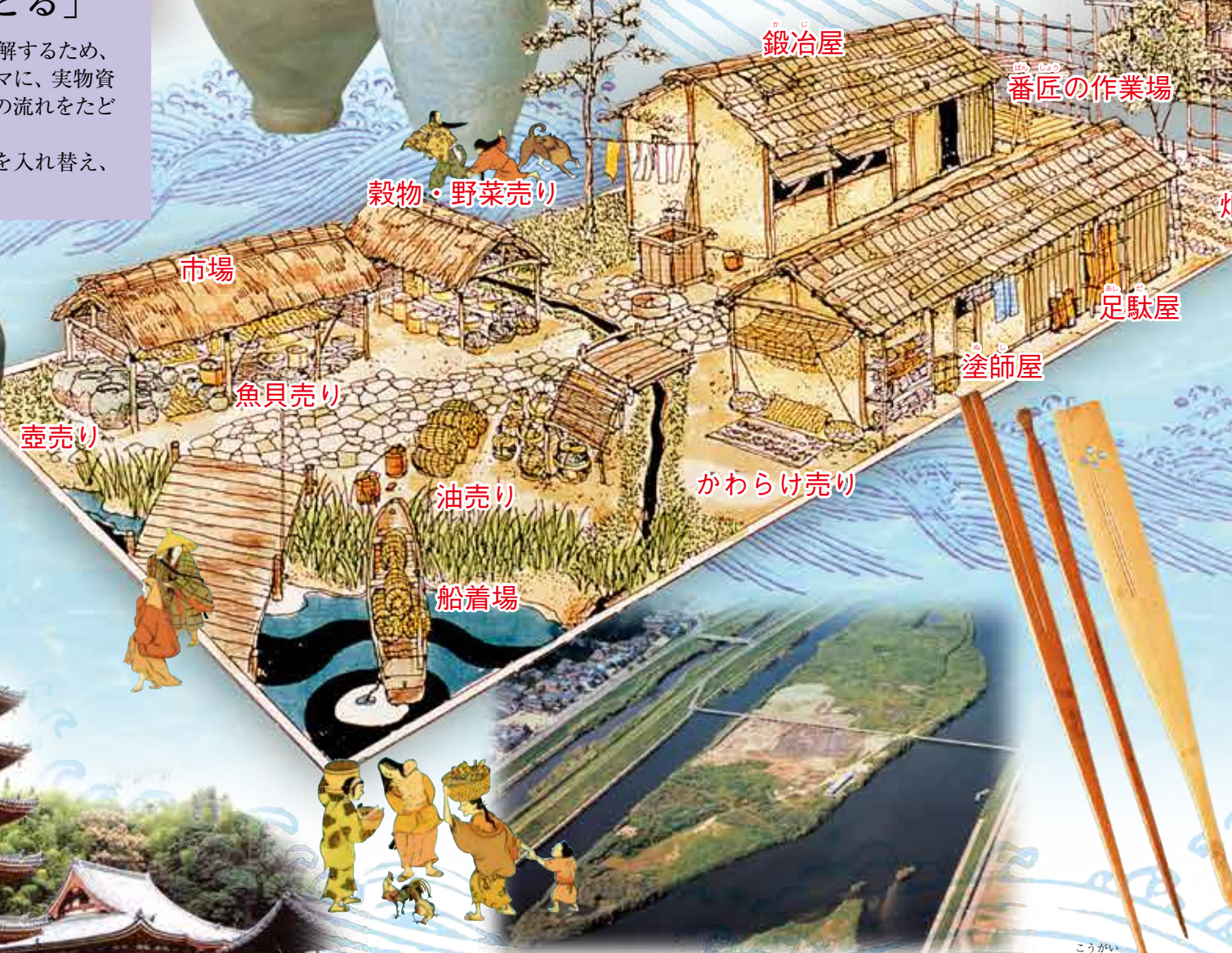
青白磁梅瓶

通史展示室「瀬戸内の歴史をたどる」
 中世民衆の町「草戸千軒」の歴史的な位置付けを理解するため、
 瀬戸内地域の「民衆生活」と「交通・交易」をテーマに、実物資
 料やレプリカなどで原始・古代から現代までの歴史の流れをたど
 ります。
 ミニ展示コーナーでは、2か月ごとにテーマ・資料を入れ替え、
 広島県の歴史と文化を中心に紹介します。



備前焼壺

遣明船模型



市場

魚貝売り

穀物・野菜売り

油売り

船着場

かわらけ売り

鍛冶屋

番匠の作業場

畑

足駄屋

塗師屋

国宝 明王院
五重塔と本堂

草戸千軒町遺跡(昭和61年)

こうがい
鉗
(髪飾り)



御堂

せんかい
銭塊

食膳の復元

じゆふ
呪符

さまざまな調理具

近世文化展示室「菅茶山の世界と守屋壽コレクション」
 江戸時代後期の教育者・漢詩人である菅茶山が遺した国重要文化財「菅
 茶山関係資料」と、国内最大級の古地図コレクションである「守屋壽コ
 レクション」の展示を通して、近世の歴史と文化を紹介します。
 2か月ごとにテーマを設定し、展示資料を入れ替えます。



かんちゃざん

もりやひさし

